

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2019年8月13日（火）

NO. 986号

本号3頁

公明・山口代表、「勝利で民意を得た」の安倍の見方に

「何の民意が得られたのか、さっぱりわからない！」

菅官房長官は7日、「政党の責任として、それぞれの憲法に対しての考え方を示し、少なくとも議論して行くことはもうまったなしではないか」と発言し、憲法改正の進捗に改めて意欲を示しました。安倍首相が身勝手に参院選を「勝利」と捉えて、任期中の改憲に向け、「勝利」をテコに秋の臨時国会で野党側を議論の席に着かせたい考えですが、菅氏も改憲を進める決意を語っています。

しかし、同じ与党の公明党は慎重な態度を崩していません。山口那津男代表は6日、広島市で開いた記者会見で、安倍首相が目指す憲法改正論議の加速を巡って、自民党内に「参院選勝利で民意を得た」との見方が出ていることについて「何の民意が得られたのかさっぱりわからない」と疑問を呈しました。さらに、「議論が進むような土俵をつくる与野党双方の努力がまず必要。何を議論するかは土俵を整えた上でのことだ」とも述べました。

山東参院議長にも慎重な発言求める！

また、先週、山東昭子参議院議長が議長就任を受けた会見で憲法改正について、「70 数年間、一度も国会できちんと議論されていないのはむしろ正常ではない」と述べ、憲法改正についての議論を活発化すべきという考えを示したことについて、公明党の山口代表は「会派を離れた、院の代表という立場での議長だ」と指摘し、慎重な発言を求めました。



山口代表は、「会派を離れて、しかも院の代表という立場での議長ですから、その発言の重みというものはよく考慮して、これからも発信されるものと思っている」と述べた上で、憲法の議論については、「野党も与党も双方に今後議論が進むような努力がまず必要だ」と指摘しました。

また、山口氏は、山東議長が衆議院と参議院でそれぞれ行われてきた総理大臣の所信表明演説を、1回にまとめて行う提案をしたことについて、「両院制の根幹にも関わることなので慎重に議論を進めてもらいたい」と注文をつけました。

安倍首相 9月に党憲法改正推進本部等の役員見直す動き

今後、安倍首相は秋の臨時国会での改憲論議の再開に向け、9月の党役員人事に合わせ、党憲法改正推進本部や衆院憲法審査会などの布陣を見直す考えです。しかし、7月26日の萩生田幹事長代行が改憲論議を前に進めるために、大島参院議長の交代論を発言したことに野党は怒り、与党内でも伊吹元衆院議長が「側近に北風を吹かせるから、せっかく脱ぎ掛けたマントを縮こめてしまう」などと、「野党に議論しない口実を与えた」との批判の声が出ています。ですから、どのような新しい改憲布陣となるかが、私たちは「憲法改正原案、日本国憲法に係る改正の発議又は国民投票に関する法律案等を審査する、憲法審査会を開催するな」の声を上げ続けましょう。

各地のとくくみ

富山 「生命を育て、生命を守ろう」と熱心な討論、母親大会開催

各地で母親大会が開催されています。第59回富山県母親大会が4日、富山市で開かれ、14団体から385人が参加。「生命を育て、生命を守ろう」と熱心な討論が行われました。安立千恵子実行委員長は「参院選で市民と野党の共闘で自民・公明らの改憲勢力を3分の2以下に追い込んだ。平和で明るい社会を子どもたちに手渡し自らも生き生きと輝くためにがんばりましょう」とあいさつしました。料理研究家の枝元なほみさんが「食べることは生きること一食を通して考える安全・安心。平和なくらしーと題して講演し、食の活動、台所が社会や政治とつながっていることを訴えました。格差と貧困の広がり、種子法の改悪、遺伝子組み換え食品の危険性、除草剤を使っても枯れない大豆、殺虫能力をもつトウモロコシなど、食の安全が脅かされている実態を語り、「今しっかりと考えないと子どもたちにちゃんとしたものを残せない」と警告しました。

午前中は脱原発と再生可能エネルギー、核兵器廃絶、介護など老後の生活、食の安全、男女共同参画、子育てなど7つの分科会で討論しました。

最後に、「市民と野党の共同をさらに大きく広げ、憲法を守り生かそう」などの母親大会アピールを採択しました。



徳島 9条守る思い込めて「平和のつどい」開催

徳島県鳴門市の東林院で6日、「平和のつどい」が開かれ、約100人が参加しました。広島原爆投下時刻の午前8時15分に全員が黙とう。核廃絶と憲法9条への思いを込めて鐘を9回打ち鳴らしました。非核の政府を求める徳島の会、「平和の火」を灯す地元実行委員会の主催。

約80羽の鳩を飛ばし、折り鶴を「原爆の火」がともるモニュメントにささげました。

非核の政府を求める徳島の会の山本千代子常任世話人は「核兵器禁止条約を批准しない日本政府を追い詰め、変えるためにヒバクシャ国際署名を広げよう」と呼びかけました。

同市の北原敏明さん(96)が海軍航空隊で同世代の若者が特攻へ向かうのを見送った体験を語り、「罪もないのに自爆して死んだ彼らに申し訳ない。戦争だけは絶対しないように」と訴えました。

「第九(歓喜の歌)」を歌った近藤偲文くん(9)は「戦争は多くの人が死んで本当に怖い。世界平和を願って歌った」と語りました。

愛媛 憲法9条をまもる愛媛県民の会が総会

憲法9条をまもる愛媛県民の会は4日、松山市で第16回総会を開催しました。「安倍改憲阻止のたたかいはこの2年間が最大の山場」「気を引き締めて全力で取り組もう」などと安倍改憲阻止に向け、決意を固めました。

東俊一代表幹事は「参院選の結果は自民党が9議席減らし、単独過半数を失い、自民・公明・維新の改憲推進3党を合わせても3分の2を割った。憲法改定を封じ込めよう」とあいさつしました。

森英二事務局長が活動報告。その後、高田義之代表幹事は活動方針について、講演会・映画会などの例会開催、会報「9条タイムズ」の発行、「9の日」宣伝、「9条パレード」の実施、会員の100人拡大などを提案しました。

討論では「昨年、会を結成して会員が100人を超えた。憲法カフェを毎月実施し、二十数人が参加している」(松山市・小野9条の会)などの発言がありました。

日本体育大学の清水雅彦教授が記念講演し、「市民と野党の共闘を全国でくまなくつくり上げ、安倍改憲の発議を阻止しよう」と呼びかけました。

山口 イージス・アショア配備計画の撤回を求め、パネルディスカッション

山口県萩市への陸上イージス配備計画の撤回を求める声を全県、全国へ広げて行こうと3日、宇部市で「イージス・アショアを今、考える」と題したパネルディスカッションが開かれました。

「平和フェスタ 2019」（医療生協協同組合健文会主催）の企画の一つで、約40人が参加。萩市や阿武町で反対運動に取り組む「イージス・アショア配備計画の撤回を求める住民の会」の森上雅昭代表（66）、「総がかり行動実行委員会」の藤井郁子共同代表、「平和を願う福賀の会」の白松博之さんの3氏が、それぞれの活動や防衛省の調査結果の問題点などを報告しました。

「住民の側が国を追い詰めている。はっきり民意を示せば撤回は勝ち取れる」（森上氏）、「安倍政権が戦争への道を開こうとする流れの中でイージス・アショアをとらえなければいけない」（藤井氏）「阿武町では女性たち数人が声を上げたところから動きが広がった。こうした運動を他の地域でも」（白松氏）などと語る各氏に参加者も熱心に質問し、現地との連帯を模索しました。



新日本婦人の会 暑い中、奮闘する新日本婦人の会

大阪 暑い！暑い！平和宣伝始まる 高槻支部 田村登代子さん

毎年行う「ロングラン平和宣伝」が1日よりスタート。猛暑の中7班から20人が参加し、ヒバクシャ署名と9条改憲NO！署名を合わせて102人分集めました。夏休みとあって親子連れや買い物帰りの人が原爆パネルに足を止め、署名してくれました。

7日間、班から班へとバトンをつなげていきます。文字通り暑い！熱い平和宣伝を迎えました。

長崎 名簿提供やめて 市長へ要請 佐世保支部 前川恵子さん

佐世保市は、自衛隊長崎協力本部の求めに応じ、自衛隊員募集のための名簿を、2015年から提供。今年も18歳と22歳の市民名簿を渡したことに對し、市長に「自衛隊法では自衛隊からの要請に對し自治体が協力する義務や強制力はない。本人の同意もなく個人情報を提供しないでほしい」と申し入れました。

対応した市民生活部長は「同意は個々に得ていないが、市庁舎の掲示コーナーで告知している」と回答。私たちは「それでは全員に伝わらない。将来名簿が濫用されないか危惧している」と指摘。部長は「周知の方法については検討して回答する」とのことでした。

<新婦人しんぶん8月8日号より>

憲法ポスター好評です。あなたの街や職場に貼り出しませんか！

安倍首相は9月の党役員人事で、党憲法改正推進本部や衆院憲法審査会などの布陣を見直し、秋に改憲に向け、動きを強めようとしています。

この秋、憲法ポスターを街や職場に貼り出し、「安倍改憲反対」の世論を広げましょう。

<京都府城陽市 濱田さん>

このようなポスターがほしかったのでさがしていました。早速送っていただきありがとうございます。さっそく、掲示しました。

憲法9条を守るため、がんばりましょう。



ご注文は、03-3261-9007 まで